

同窓会報



鳥羽商船同窓会

〒517-8501
三重県鳥羽市池上町1番1号
TEL (0599) 25-8045
FAX (0599) 25-8128
携帯電話 090-7612-2979
振替口座番号 00850-6-846

皇太子殿下、本校御行啓



◆ 目次 ◆

同窓会会長挨拶	2	クラス会	16
学校長挨拶	3	会員の投稿活動紹介	17
平成29年度本部会務報告	4	(特集 活躍する同窓)	
平成30年度本部会務報告・計画	5	その他の投稿記事	23
平成29年度会計報告	6	事務局だより	24
平成30年度予算	6	編集後記 (追加記事)	
同窓会役員理事	7	会員の移動	26
同窓会の活動	7	(死亡者一覧、新入会員)	
NPO法人故郷の海を愛する会	9	住所変更	28
学校だより	11	寄付金・会費納入一覧	29
支部だより	12		

皇太子殿下 母校へご行啓

同窓会会長

菅沼 延之

S48N(88期)



昨年6月の会長就任以来の1年余り、取り組んだ内容は、主に次の通りです。

1. 学校教職員との懇談会
2. 財政の健全化への道筋
3. 新名簿の発行
4. 寮生会及び学生会との連絡懇談会

母校事務局と共に、1は実施。2は手探り中です。3は、個人情報保護法のせいか、住所等の項を非公開にする若い同窓生が増えてきました。今回は果たして名簿更新ができるのか、難しい時世となりました。4については、学生の中で二つの組織があり、両者の交流があまり無い様に見受けられます。昨年9月、私が初めて出席した商船学科の卒業式で、校歌を2度聴くという驚くべき出来事がありました。それは、両会がそれぞれの節回しで、校歌1～3番を別々に歌うという、理解しがたい場面に出くわしたのです。何か割り切れぬ思いと戸惑いを禁じ得ませんでした。この現状を踏まえ、同窓会が仲立ちをして、交流を促す場を設けておりますが、時間がかりそうです。

さて標題に入ります。記録的猛暑の今夏8月1日、皇太子殿下がご行啓され、1時間余り母校を見学されました。当日のテレビニュース、翌日の新聞各社の記事等で大きく報道されました。

皇太子殿下がご行啓される事を知り、私としては、学校の栄誉、創始者・近藤先生への御恩返し、同窓生皆様からの付託に応えるべく、私の判断で、同窓会より100万円のお役立てを申し添え、下記6項目の要望を学校にお伝えしました。注釈や結果等を夫々付します。

1. 近藤真琴先生顕彰碑 並びに 戦没者慰霊碑 周辺の整美：

<平素から最重要項目と捉え、ご寄付等させていただきますしておりますが、特に今夏の猛暑では雑草が著しかったので、2週間前と直前の2度に亘り実施されました。近藤先生は鳥羽藩士から

身を立てられ、蘭学、航海術を研鑽されました。昨年、鳥羽市において近藤先生の生涯を描いた劇が行われ、本校学生の熱演も大好評でした。艱難辛苦の末、日本初の商船学校を故郷に立ち上げられた先駆者です。

慶応の福沢諭吉先生、同志社の新島襄先生と共に明治六大教育者とされ、顕彰碑の文字は、勝海舟先生直筆です。東京の兄校である攻玉社は、鈴木貫太郎海軍大将（昭和天皇陛下のご信頼厚く侍従長をも務め、2.26事件の襲撃からも生還、難しい終戦時の内閣総理大臣の大役を担われた。）を輩出しています。戦没者慰霊碑は、戦時中、日本国徴用商船に乗り組み、犠牲になられた先輩方のものです。無防備の商船戦没者はむしろ軍人よりも多かったと言われています。>

2. 本館前の職員駐車場枠の白線の引き直し：

<部分的な削れ、消失等で美観を損なっていたので、同窓会での費用負担を申し入れました。しかし、これについては近い将来、駐車場が無くなるので不必要という理由で、行われませんでした。>

3. 校門での国旗掲揚：

<皇太子殿下御迎への常識であり、要らぬ要望と思いつつも、いまだ一部国民、学校や職員において、国旗国歌に対する偏見やアレルギーがある風潮について、一抹の不安がありましたので、念の為の申し入れでした。当然ながら実施されました。>

4. 皇太子殿下お出迎え学生（42名）及びプレゼンテーション学生数名の服装を制服に：

<当初は諸般の事情で各自ばらばらの背広でお迎えするという事でしたが、せめて商船学科のみでもと要望し、純白の制服に統一していただきました。>

5. 本館外壁の汚れの除去：

<業者による高圧洗浄で、見違えるほど美くなりました。同窓会の用立てが活かされ、有り難い事でした。>

6. 皇太子殿下が歩かれ、立ち止まられる通路、教室の3S（整理、整頓、清掃）の徹底：

<常識の事ですので僭越とは思いながらも要望し、為されました。>

当日16時頃、御料車が到着し、学生42名 学校長、私を含めた6名が、皇太子殿下をお出迎えしました。

殿下は約1時間に亘り本館内と潮騒会館（校門入って右手）を回られ、ロボット等ご見学されました。同窓会ホームページに紹介されていますが、本校は本年米国でのイマジンカップに、日本代表として東大2チームと共に出場、惜しくも準決勝に進めなかったとの事です。ロボットご見学の際、暖かいお言葉をいただいたと聞きました。そして正面玄関へお戻りになられた際、皇太子殿下は、再びお出迎えした42名の、最前列学生11名の1人1人に、丁寧にお声をかけてくださいました。畏敬と感謝の念を抱きつつ、17時15分全員でお見送りをして、行事は終了と相成りました。同窓生代表として唯一出席させていただいた私にとっても、感激至極のひと時でした。

此度の殿下ご訪問に際し、校長、事務長はじめ学校職員の方々、学生の皆さん、国、県、市等のご関係者、縁の下で支えて下さった全ての皆様のご労苦に、心より感謝申し上げます。有難うございました。

学校長挨拶

林 祐司



同窓会員の皆様には、普段より種々お世話になっており、教職員・在学生を代表して、深甚より感謝を申し上げます。

さて、平成30年度前半は、光栄なこと、希望に満ちたこと、残念なことが混在する複雑な鳥羽商船高等専門学校の状況でした。まず光栄なことは、皇太子殿下の本校行啓でした。また、希望に満ちたことは、工業系2学科の学科改組が認可されたことです。最後の残念なことは、商船学科に定員割れが発生したことでした。以下、それぞれについてご報告と御願いを申し上げます。

1. 皇太子殿下の行啓

皇太子殿下の行啓という開校以来、初めての皇室のご訪問という栄誉に浴する機会を得ました。殿下は伊勢市で開催された「2018東海総体」の総合開会

式御出席の後、平成30年8月1日1610時から1725時の間、鳥羽商船高等専門学校をご視察になりました。

予定時刻に本校学生42人と一部教職員により、1号館前においてお出迎えいたしました。その後、学生代表による商船学科、制御情報工学科、電子機械工学科のそれぞれの学科説明と研究内容発表および平成29年度ロボットコンテスト全国大会出場マシンの操縦実演をご覧になりました。それぞれの説明ブースでは、殿下は熱心にご覧になられ、学生一人ひとりにご質問をされておられました。途中、ご休憩所で呈茶した二人の女子学生にもお声がけをされていました。すべてのご視察の行程が終了し、お見送りの際には、校長に「学生の真摯な説明と真剣な研究態度に感銘を受けました。このことを学生の皆さんに伝えてください。」とお言葉を賜りました。殿下の行啓は予定された時間通りに進みましたが、お見送りの際に、整列した最前列の11人の学生一人ひとりに勉強している内容や将来の夢を質問されて、予定時間を超過してしまいました。先導役を仰せつかった校長としては、学生の皆さんのしっかりした対応に嬉しさがほとぼしり、感無量の面持ちでした。

2. 学科改組の認可

3年越しの申請であった工業系2学科の学科改組が本年9月に認可されました。既存の「電子機械工学科（学生定員40人）」と「制御情報工学科（学生定員40人）」を統合・改組し、「情報機械システム工学科（学生定員80人）」を新設するという学科改組申請が認められ、平成31年4月1日より、新学科に新生80人を迎えることになりました。

当該学科改組は、少子高齢化が著しく進行する三重県中南部における産業の振興と大きく変化する産業形態に対応するために、工業系学科の教育シラバスに柔軟性を持たせることによって、学生の希望進路と勉強内容のミスマッチを回避することができるというものです。具体的には、高学年時に6つのモデル（学習コースの一種で、主専攻と副専攻が存在する）を設定・選択することによって、学生と産業界の指向に合致した教育を実現するものです。この改組により、学生は将来の希望する仕事に直接役立つモデルを選択し、知識・経験を深めることが可能となります。



伊勢三河湾水先区水先人会

小久保 又五郎 (S38N) 家田 和良 (S39N) 池上 義孝 (S40N)
 成田 寛太郎 (S41N) 横山 良一 (S42N) 小林 司 (S43N)
 大野 義和 (S44N) 池山 薫 (S47N) 伊庭野 紀弘 (S47N)
 中村 道夫 (S47N) 岩本 正直 (S49N) 大濱 輝久 (S49N)

(4)

3. 商船学科の定員割れ

平成30年度入試では、商船学科（学生定員40人）の定員割れ（既入学38人）が発生しました。三重県下を中心とした本校教職員の不断の努力にも拘らず、定員割れが発生したことは、校長として責任を全うしているとは云えず、無念の極みです。優秀な入学生の確保と卒業生の100%の就職・進学先の確保は、学校の最も重要な使命です。現状では、これら使命達成が実現されておらず、使命達成のためには、同窓会との連携が必須で、今後益々重要となってきます。入口の人材を優秀な学生で固めることにより、改組等で新規に構築する教育システムが有効に作用し、出口の学生の希望を充足した人材供給先の確保が実現します。

具体的には、優秀な受験生の確保のために、三重県内外の6ブロックの同窓会組織を活用させていただき、商船学科を主とする受験生確保活動の実施を御願いたします。各都道府県に5人程度の地元中学校キャラバン隊を編成していただき、均質な本校関連情報提供のために、本校で用意した説明資料等を持参して説明マニュアルにしたがってご説明を御願いたします。そのほかには個人の熱意で説明を色付けしていただけて結構ですが、現在の中学3年生の気性に合致した夢のある説明を御願いたします。実施詳細につきましては、既に同窓会長と同窓会事務局長とご相談させていただいております。

この受験生確保のキャラバン隊の成否が、将来の本校の浮沈を握っていると云っても過言ではありません。この活動を地道に運用することによって、10年先・20年先の本校の地位が上昇し、より地域に愛される学校として存続するものと確信しております。どうか、どうか、宜しく御願申し上げます。

本部報告

平成29年度本部会務報告

①会議

イ 理事会 平成29年6月4日 10:20~11:40
名古屋 名鉄グランドホテル
☆出席理事39名（委任状含）

ロ 総会 平成29年6月4日 11:50~12:20
名古屋 名鉄グランドホテル
☆出席会員数104名。来賓6名

ハ 支部長会 今年度は開催されず。

②会報発行

会報：平成29年10月15日、会員3,600名に発送
（うち190通あて先不明により返送）

③主要活動 平成29年度総会以降

- 6月4日 理事会、総会、懇親会**
名古屋名鉄グランドホテル
中部支部の主催、事務局応援
- 6月~7月 商船学科5校合同進学ガイダンス開催**
東日本支部、関西支部、西日本支部会員
会場：神戸、広島、東京
- 7月9日 攻玉伝上演（鳥羽かたらづか劇団）**
母校在校生5名出演と演出、大道具、照明、コーラスに在校生同窓生20数名が参加協力しました。観客約600名に近藤真琴翁の業績を改めて知ってもらえました。
- 7月21日 故郷の海を愛する会**
中部運輸局長賞受賞
8年に亘る海事思想普及活動に対して受賞
- 8月16日~ 会報発行準備着手**
事務局、伊勢志摩支部会員、母校職員
の会員
- 9月29日 商船学科卒業式**
式の参列、並びに同窓会の事前説明及び新規加入手続き事務局、伊勢志摩支部会員9名参加
- 10月16日 同窓会報発行 発送**
伊勢志摩支部と事務局10名で同窓会報発送作業、約3,600名に発送。
- 10月21日 課外活動信金、報奨金授与式**
合計金額27万円(予算計上と同じ)。
全国高専プログラミング大会最優秀賞、ロボコン全国大会出場等
- 10月22日 海学祭悪天候のため中止**
今年も伊勢志摩支部の出店を準備していましたが残念でした。
- 11月15日 攻玉社学園1年生修学旅行で来校**
学生49名と先生方10名が来校し近



伊勢三河湾水先区水先人会

田中 俊彦 (S50N)
町 裕次 (S52N)
西濱 卓己 (S54N)
門奈 克明 (S62N)

鶴飼 幹夫 (S52N)
森内 芳卓 (S52N)
増島 忠弘 (S54N)

畑内 康孝 (S52N)
鈴木 晴敏 (S54N)
原 秀男 (S56N)

藤翁記念碑と100周年記念館を見学され、校長と菅沼同窓会長他が出迎えました。

- 11月17日 **学生代表との懇談会**
学生会3名、寮生会3名と菅沼会長、西山明会計、江崎事務局長が食事会と懇談会を開催
- 2月13日 **落合元同窓会長を囲んで懇親会**
今年88歳を迎えた落合元会長を同窓会菅沼会長、伊勢志摩支部6名が招待し益々のご健康を願い宴席を設けました。
- 3月18日 **M,I科卒業式で同窓会案内、加入活動**
事務局、伊勢志摩支部会員8名。

平成30年度本部会務報告・計画

平成30年4月～31年3月

- 4月 総会案内発送準備発送
4月 同窓会名簿編集作業
4月 同窓会名簿への広告掲載の編集
5月 同窓会名簿制作発注
5月 理事会・総会案内発送
5月 理事会、総会会議資料作製
6月 理事会・総会（活動報告に記載）
6月 同窓会ポロシャツ作成
7月 同窓会会報作成準備
- 7月以降の活動計画**
- 8月 同窓会会報編集作業
9月 商船学科卒業式参列、祝賀会実施
同窓会入会案内、手続き
10月 同窓会会報発送作業
10月 海学祭支援、同窓会の出店
10月 学生支援奨励金の授与
12月 商船学科、工学科の施設見学会並びに講演会を実施予定。「故郷の海を愛する会」主催。
3月 工学科（I科、M科）卒業式参列、祝賀会実施

平成30年度行事予定（一部実施済）

月日	曜日	行事内容	関係者	備考
4月3日	月	入学式（本科S, M, I, 専攻科生）		
5月15日	火	戦没・殉職船員追悼式	東日本支部	
5月19日	土	攻玉社同窓会総会 出席	会長、東日本支部	
5月20日	日	横浜港カッターレース大会	東日本支部	
6月3日	日	理事会・総会・懇親会	会長、主管支部役員、全会員	関西支部担当
6月30日 7月28日	土 土	国立高専 商船学科 5校合同進学ガイダンス	神戸：西日本支部、関西支部 横浜：東日本支部	日本船主協会主催
7月7日	土	名古屋港で砕氷船「ふじ」と海洋博物館の見学	伊勢志摩支部会員、一般ボランティア	故郷の海を愛する会主催
7月26日	木	JMU津造船所見学と鳥羽商船高専の練習船で体験航海	伊勢志摩支部会員、鳥羽商船高専	故郷の海を愛する会主催
8月22日	水	伊勢湾フェリーに乗船し、伊勢湾海上交通センターの見学	伊勢志摩支部、鳥羽商船高専	故郷の海を愛する会主催
9月24日	月	卒業式（N, E）・修了式（海事）	会長、地元支部役員、事務局	
9月末日		同窓会会報発行	事務局	
10月13日	土	潮騒の神島の自然観察と伊良湖水道の見学	伊勢志摩支部、鳥羽商船高専	故郷の海を愛する会主催
10月21日	日	海学祭	伊勢志摩支部	出店参加
12月8日	土	本校の施設見学と講演会	伊勢志摩支部、鳥羽商船高専	故郷の海を愛する会主催
3月17日	日	卒業式（M・I）・修了式（生産）	会長、地元支部役員事務局	卒業祝賀会



東京湾水先区水先人会

坂崎 清 (S40N)
飯野 実 (S44N)
藤本 良夫 (S51N)

中川 敏 (S40N)
石川 富朗 (S47N)
木場 弘幸 (S53N)

三村 徳蔵 (S40N)
高木 春男 (S49N)

平成29年度会計報告

自 平成29年4月1日 ～ 至 平成30年3月31日

会計報告は平成30年6月4日大阪第一ホテルに於いて開催の理事会、総会で承認されました。

現金・預金

※比較増減＝期末－期首

勘定科目	期首金額	収入	支出	期末金額	比較増減
現金	0			0	0
普通預金計	1,387,781	15,781,286	13,789,795	3,379,272	1,991,491
定期預金計	22,306,985	12,518	947,728	21,371,775	-935,210
現金・預金合計	23,694,766	15,793,804	14,737,523	24,751,047	1,056,281

収入の部

※比較増減＝決算金額－予算

科目	29年度予算	決算金額	比較増減
会費	3,180,000	3,114,000	-66,000
寄付金収入	700,000	841,880	141,880
パナー広告収入	240,000	160,000	-80,000
雑収入	1,331,000	2,227,500	896,500
受取利息	4,700	12,526	7,826
預かり金	0	4,300	4,300
収入合計	5,455,700	6,360,206	904,506

支出の部

科目	29年度予算	決算金額	比較増減
負担金	520,000	550,000	30,000
総会費	1,425,800	1,375,373	-50,427
会報・会員名簿	835,000	825,520	-9,480
対外活動費	217,000	211,372	-5,628
支部活動費	492,000	492,000	0
慶弔費	30,000	0	-30,000
旅費交通費	400,000	371,000	-29,000
事務消耗品費	30,000	24,087	-5,913
会議費	30,000		-30,000
会務運営費	277,000	296,847	19,847
外部委託費	650,000	641,300	-8,700
特別予算 本校紹介活動	300,000	300,000	0
特別予算 (ロボコン大会)	200,000	200,000	0
雑支出	20,000	16,426	-3,574
支出合計	5,426,800	5,303,925	-122,875

平成29年度会計報告

平成29年度期初、期末の銀行等の残高証明の確認を行い、29年度収支に関しては領収書、各銀行などの出納記録と照合して監査した結果、正確かつ適正であったことを認めます。

平成30年5月20日

会計監査 武部二三男



会計監査 竹川 俊



平成30年度予算

自 平成30年4月1日 ～ 至 平成31年3月31日

現金・預金

※期末残額＝期首＋収入－支出

勘定科目	期首金額	予算収入	予算支出	期末残額
現金	0	0	0	0
普通預金計	3,379,272	6,143,448	6,456,496	3,066,224
定期預金計	21,371,775	12,000	0	21,383,775
現金・預金合計	24,751,047	6,155,448	6,456,496	24,449,999

30年度予算は、約31万円のマイナス予算となる。

収入の部

※比較増減＝30年予算－実績

科目・内訳	29年度実績	30年度予算	増減比較
会費	3,114,000	3,100,000	-14,000
寄付金収入	841,880	810,000	-31,880
スポンサー広告収入	160,000	270,000	110,000
雑収入	2,227,500	1,963,000	-264,500
受取利息	12,526	12,448	-78
預かり金(会費・名簿等)	4,300	0	-4,300
収入合計	6,360,206	6,155,448	-204,758

支出の部

※比較増減＝30年予算－実績

科目・内訳	29年度実績	30年度予算	増減比較
負担金	550,000	650,000	100,000
総会費	1,375,373	1,468,000	92,627
会報・会員名簿	825,520	1,585,000	759,480
対外活動費	211,372	231,000	19,628
支部活動費	492,000	512,000	20,000
慶弔費	0	0	0
旅費交通費	371,000	460,000	89,000
事務消耗品費	24,087	241,000	216,913
会議費			0
会務運営費	296,847	289,496	-7,351
外部委託費	641,300	600,000	-41,300
特別予算 (本校紹介活動)	300,000	300,000	0
特別予算 (イマジック杯世界大会)	200,000	100,000	-100,000
雑支出	16,426	20,000	3,574
支出合計	5,303,925	6,456,496	1,152,571

★予算は31万円の赤字になる見込みであるが、預貯金の残額は29年度期首の金額よりも増額する。

★負担金の中で学生支援として1級海技士等の資格取得奨励金の予算を10万増額した。

★支出は、前年に比べ約115万増えている。
主な要因は名簿制作費であるが、これに該当する分は前年雑収入に名簿広告掲載料として110万円が、前納されている。

年々会費の収入は減少の傾向で有ります。
会員の皆様のご協力よろしくお願ひします。



大阪湾水先区水先人会

田中 忠士 (S38N) 河口 長弘 (S40N) 南方 日出一 (S40N) 藤本 昌之 (S42N)
鹿野 秀治 (S48N) 小山 道夫 (S49N) 山本 隆史 (S52N) 山本 丈司 (S54N)
習田 誠至 (S55N) 濱地 義法 (H4N) 蛸積 史丸 (H12N)

平成30年度 同窓会役員・理事

本部

会長	1	菅沼 延之 S48N	事務局長	1	江崎 隆夫 S44E
副会長 (3)	4	藤本 昌之 S42N	事務局	8	溝井 昇 S42E
		加塚 信吾 S52E			三井 健次 S43E
		室 博也 S55N			江尻 潜 S48E
		江崎 修央 H4M			山口 伸輔 S48N
相談役 (6)	5	古川 昭一 S30E			木下 勝 S49E
		桑嶋 収平 S31N			西山 明 S50E
		菅原 昌男 S33N			畑 辰幸 S51N
		松浦 肇 S36N			北端 大志 H8N
		中澤 昌信 S37N	学校連絡	1	小島 智恵 H14N
会計監査 (2)	2	武部二三男 S38N			
		竹川 俊幸 S42E			

名誉顧問	2	落合 弘明 元同窓会長
		菱田 司 元同窓会長
		田中 三郎 前同窓会長
特別顧問	3	林 祐司 学校長
		石田 邦光 副校長
		山内 浩一 事務部長

※ は新任
 ※ () 内は定数

支部

東日本支部 11(11)		伊勢志摩支部長 14(13)	
支部長	水野 正治 S43N	支部長	三井 建次 S43E
理 事	岩田 仁 S38E	理 事	大西 彰夫 S36N
	田中 三郎 S42N		川口 心也 S40E
	大橋 泰夫 S48N		溝井 昇 S42E
	富岡栄一郎 S48N		江崎 隆夫 S44E
	水野 博之 S48N		山口 伸輔 S48N
	奥田 宣夫 S48E		木下 勝 S49E
	大橋 秀章 S49N		西山 明 S50E
	菅原 秀樹 S51N		畑 辰幸 S51N
	星野 芳昭 S52E		塩野 明俊 S56E
	真治 正章 H8N		齋心 俊憲 H1N
中部支部 6(6)		江崎 修央 H4M	
支部長	山川 博之 S53N	北端 大志 H8N	
理 事	小林 正司 S43N	中井 一文 H16I	
	菅沼 延之 S48N	関西支部 7(7)	
	宗接万太郎 S48N	支部長	田中 潔 S52N
	加塚 伸吾 S52E	理 事	藤本 昌之 S42N
山口 淳 S61N	岡崎 和清 S48E		
四日市支部 5(4)			村田 佳久 S55N
支部長	西井 育央 S61E		國安 政幸 S58N
理 事	室 博也 S55N		清家 将之 S60N
	待井 健司 H2N	福田 美和 H7N	
	伊藤 英樹 H4E	西日本支部 2(2)	
西村 崇 H6I	支部長	中野 正義 S41N	
		理 事	神子 功 S48E

同窓会の活動

商船学科卒業式・海事システム学専攻修了式

平成29年9月24日(日) 母校商船系卒業式が行なわれました。学生たちの進路は外航船社9名、内航船社16名、フェリー4名、陸上企業、官公庁に7名、進学3名でした。(学校により参照)

課外活動支援金、報奨金支給式

平成29年10月21日課外活動支援金、報奨金の授与式を行いました。学校側からは指導教員の(プロコン)江崎氏、(学生会)林氏、(吹奏楽)豊田氏、(ロボコン)脇坂氏、(カッター)山野氏、(陸上)小田氏、(連絡担当)小島氏が出席されました。支援金とし総額合計24万円の支給となりました。



学生代表との懇談会

平成29年11月13日 同窓会菅沼延之の会長、江崎隆夫事務局長、西山明氏(会計)が、学生会3名、寮生会3名と懇親会の場を設けました。この懇談会は、菅沼会長の同窓会が現役学生との接点をもっと多く持たなければ同窓会に対する認識や関心を高めることは出来ないという趣旨で開かれました。

今の学生たちの状況や要望などを少しは把握することができたように思います。また学生たちも同窓会の存在に少しは関心を持てたのではないかと思います。又次回を約束して会は終了致しました。

懇親会参加学生

学生会会長	渡邊 (I5)
学生会副会長	村山 (I4)
寮長	福田 (SE5)
女子寮長	深田 (SN5)
学生会体育祭実行委員	河戸 (SE3)
世話係代表	山中 (M5)

以上6名



内海水先区水先人会

本山 幹夫 (S38N)
青山 保 (S42N)

島田 愛水 (S42N)
谷口 誠 (S56N)

武藤 兼廣 (S42N)
大濱 啓司 (S60N)

落合元同窓会長を囲んで懇親会

平成30年2月12日(月) 祝日、伊勢市駅前落合元会長自宅隣の料理屋「桂」で懇親会を開催致しました。この宴は、菅沼会長の仲人でもあり、我々同窓生の恩師でもある落合先生が同窓会長を退任されて以来、疎遠になっていた同窓会の現状報告と役員を表敬訪問の意も込めて集まりました。先生は今年88歳の米寿を迎えられたそうです。さすがに足腰は衰えておりますが、頭脳も明晰で会話、記憶力も我々が驚くほどしっかりしておられます。現在は、ご自宅でお手伝いさんと共に元気に生活しています。2時間ほどでしたが、昔話に花が咲き、又次回を約束して散会いたしました。

参加者：落合弘明 (S22N)、菅沼同窓会長 (S48N)、
武部同窓会監査 (S38N)、江崎事務局長 (S44E)、
西山会計 (S50E)、山口理事 (S48N)、
横井英樹 (S48N)、伊勢志摩支部長 三井 (S43E)



卒業生への同窓会の説明会

平成30年3月18日卒業式に先立ち同窓会について視聴覚室において本校制御情報工学科長である出江氏 (H3M) よりプレゼンを行っていただきました。

電子機械工学科・制御情報工学科 卒業式

平成30年3月18日(日)、(学校だより参照) 菅沼同窓会会長からは、後輩達に「鉄は熱いうちに打て！」の言葉はあるが、打つ方、打たれる方其々に覚悟を持って望まなければならない。」等卒業生へのはなむけの祝辞がありました。

総会案内発送作業

平成30年4月19日総会の案内発送作業に伊勢志摩支部の会員の皆さんが参加してくださいました。

マンパワーも体力が不足しがちの面々が多いので今回は更に多数の参加者を期待したいものです。

鳥羽商船同窓会総会開催

平成30年6月3日関西支部のお世話で大阪駅南丸ビルの大阪第一ホテルにて開催されました。

来賓に母校から林校長、石田副校長、山内事務部長。そして東京の攻玉社同窓会の木村同窓会長、田村事務局長をお迎えし、同窓生82名と共に盛大に催されました。理事会、総会では西山会計から今年の決算と予算審議がなされ承認、報告されました。

29年度の決算は同窓会名簿の発刊準備で協賛会社から広告料収入が臨時で増えたため黒字決算で終わりましたが、次年度以降はこれらの収入が減少するため年会費、終身会費、寄付金の益々のご協力の要請がなされました。菅沼会長、林校長からあかるい話題が報告されました。母校がアメリカ シアトルでのマイクロソフト社主催のイマジナカップ世界大会へ日本代表として、東大から2チーム、鳥羽商船から1チームが大きな期待を受けて参加します。母校の健闘を祈って急遽会場に募金箱が回され多くの寄付金が集まりました。このチームの指導教官でもある同窓会の江崎修央副会長がお礼と優勝を目指して力強い言葉をのべました。又、今年母校商船科の受験者が減り定員40名に対し38名の入学で2名の定員割れを生じたことが報告されました。学校、同窓会もこの由々しき現状を重大な懸案と受け止め母校、同窓会が力を合わせこの問題を打開すべく協力し合っていくことを承認、報告されました。具体的な取り組みは秋に支部長会を開催し活動いたします。同窓会伊勢志摩支部が主体で立ち上げた、NPO法人 故郷の海を愛する会の活動に対して国交省中部運輸局から運輸局長賞を受賞しました。この会の活動も今年で10年を迎えました。母校と共にこの会の活動が県内外に向けて母校PRに寄与している事は疑いようありません。益々の活動をお願いいたします。懇親会にて攻玉社木村会長が両校の兄弟校の歴史とご祝辞をのべられ、今後も熱い交流を続けていくことを菅沼会長と約束されました。最後に来年の総会開催地の三井伊勢志摩支部長の万歳三唱と来年6月2日の鳥羽での再会を約束して散会致しました。関西支部の皆様ご協力ありがとうございました。



和歌山下津水先区水先人会

畑 辰幸 (S51N) 清水 貢 (S56N)



鹿島水先区水先人会

郡 茂典 (S50N) 大原 智喜 (S57N)

NPO法人故郷の海を愛する会

会長 川口心也 (S40E)

◇活動10年：

もっと多くの子供達が世界につながる海や船を知り、親しみ、将来はそれらに関わる人になって欲しいと考えて伊勢志摩支部の同窓生が故郷の海を愛する会を立ち上げ、活動を続け、今年でやっと10年となりました。10年は続けようと頑張ってきましたが、**目標達成**です。

おかげさまで、今年も7～8月に予定している3つの活動に多くの応募がありました。とても嬉しいことです。支援・助成について、今年には日本海事センター、全日本海員組合、日本中小型造船工業会、日本船主協会、山縣記念財団、鳥羽商船同窓会の支援・助成を頂いています。日本中小型造船工業会と日本船主協会は活動に際し共催で活動しています。中部運輸局は後援ですが、会の活動を「海の月間」イベントとして紹介して頂きました。又、活動の際に子供達に貴重な話をして頂いています。

南勢海洋少年団、四日市海洋少年団、セイラビリティ伊勢と協力して活動をしています。応募対象地域は徐々に広め、津市から尾鷲市までの三重県の中南勢地域の約25,000名の小中学生です。

活動が10年となり、子供達や保護者や各小中学校に活動が知られるようになり、多くの応募を頂いています。又、資金的には海事関係の団体から継続して支援が頂けています。有難いことです。

活動自体は軌道に乗ってきたと思っていますが、**活動の継続**についての問題は事務局の高齢化ですね。

そこでお願い、**伊勢志摩支部の方々、事務局を奉仕の精神**でお願いできませんか？

会の活動の様子は、同窓会HP、日本財団の提供するCANPANブログで見て頂けます。

<http://blog.canpan.info/umiwoaisurukai/>

◇活動の報告など：

昨年の同窓会報に掲載の活動以降の紹介をします。

2017年10月14日

潮騒の神島の自然観察と伊良湖水道

多くの応募があり、楽しみにしていたのですが、天候不良が予想されたので中止となり残念でした。2018年度で再度計画しました。

2017年10月22日

鳥羽商船の海学祭で活動紹介

天候不良で海学祭が中止となりました。

2017年12月9日

商船学校の歴史と船と海の話

鳥羽商船高専で小中学生69名の参加を得て、実施しました。募集は50名の予定でしたが、多くの応募を頂きました。4名ほど体調不良などがありキャンセルとなりましたが、最終69名もの子供たちに参加して頂き、盛況にみんな喜んでいました。

参加者の約半数は故郷の海を愛する会の活動に初参加の人たちです。又、県外の京都・名古屋・平塚からの応募もありました。船にとっても興味があり、故郷の海を愛する会のブログを見て応募してくれたそうです。私たちの活動が少しずつ知られてきたのかなーと感じています。私たちの活動の目的は子供たちにもっと世界につながる船や海を知ってもらう活動をする事ですが、活動を通して、子供たちが新たな友達を作り、仲良くなるように願っています。活動の際には子供たちのみ参加が原則で、これからも変えないで行こうと思います。



2018年6月4日

「世界につながる海 IN 2018」

イベント①～③募集



2018年度は5回のイベントを計画していますが、7～8月に実施する3つのイベントについての募集を6月4日に開始しました。

朝、事務室に行ってみると00:00から多くのファックスやメールが届いていました。すべてのイベントについて6日には募集終了となりました。今までは早くても2週間ほどかかっていたのですが?嬉しい悲鳴でした。

2018年7月7日

名古屋港で砕氷船と海洋博物館の見学

96名の小中学生の参加を得て、イベントその①を実施、無事終了しました。大雨が続いていたので7日の天候が気がかりでしたが、天気予報を頼りに、実施を決めました。おかげさまで、活動中は殆ど雨に邪魔されず、子供達は「港や船の役割や、人々の暮らしとの関わりなどを勉強」しました。



2018年7月26日

JMU津造船所見学と

鳥羽商船高専の練習船で体験航海

小中学生96名の参加を得てイベントその②を計画通りに実施、終了しました。連日の猛暑で、熱中症を心配しましたが、おかげさまでそれほど暑くなく、活動日和となりました。造船所では大型船の建造工程を見学し、船の大きさを体感しました。なぜ船が浮くのかも勉強しました。鉄の重さも体感しました。練習船の体験航海では船を操縦する船橋を見学したり、エンジンをコントロールする制御室を見学したり、ロープの結び方を勉強したりしました。

子供たちが世界につながる海や船を知るいい機会になった事と思います。



2018年8月22日

伊勢湾フェリーに乗船し、

伊勢湾海上交通センターの見学

台風接近で多くのキャンセルがありましたが、小中学生84名の参加を得て、イベントその③を実施しました。伊勢湾フェリーでは中部運輸局のお話と鳥羽海上保安部の海上安全教室や船橋見学などを行いました。伊勢湾海上交通センターで伊良湖水道を通



航する船舶を管制している様子を見学、渥美郷土資料館では海を介し渥美半島と伊勢志摩が交流があった事を学びました。

この後、10月と12月にイベントを計画しています。

◇終わりに：

10月13日に「潮騒の神島の自然観察と伊良湖水道」としてイベントその④を予定していますが、同窓会伊勢志摩支部とも協力して開催しますので、伊勢志摩支部の方々もレクリエーションとして参加下さい。(お願い)

昨年の会報にも同じようなお願いをしています。活動も何とか軌道に乗ってきたと思います。幸なことに参加者集めの悩みは無くなりましたが、その活動資金集めと、事務局員探しは懸案事項です。

- 資金的には鳥羽商船同窓会はじめ各海事関係の団体や明るい社会づくりの会などから助成を得ていますが、当初計画以上の子供たちに参加してもらっているので出費が増えています。活動資金集めにご協力下さい。
- 事務局も10年経つと高齢化が著しいです。多くの子供達にもっと海や船を知ってもらう活動を続け、将来のある子供たちが母校を目指すように活動を続けるため、同窓生の皆様のご協力をよろしくお願い致します。



学校だより

平成29年9月～平成30年8月

年間行事（暦順に掲載）

第46回商船学科卒業証書授与式並びに第10回専攻科（海事システム学専攻）修了証書授与式を挙

平成29年9月24日（日）、第46回商船学科卒業証書授与式並びに第10回専攻科（海事システム学専攻）修了証書授与式を挙

式では、林校長から商船学科卒業生37名に卒業証書、専攻科（海事システム学専攻）修了生3名に修了証書が手渡された後、「海図の無い人生航路を行く中で3つ、すなわち命、朋、仕事を大切にしてください。生きていく上で発生する大小さまざまな

失敗から何を学び、どう活かすかが大切です。」と式辞が述べられました。



平成29年度専攻科（海事システム学専攻）入学式

平成29年度専攻科（海事システム学専攻）2名を迎える入学式が平成29年10月2日（月）に挙

式では、林校長から「柔軟な思考力と応用力を身につけ、国際的に活躍できる広い視野とリーダーシップを備えた人間に成長してください」と祝辞が述べられた後、新入生代表から「島国である日本にとって不可欠である海運業界を担うべく、国際的に通用する能力を身に付け、日本を支えることのできる立派な海技従事者を目指して日々邁進していきたいと思

平成29年度電子機械工学科・制御情報工学科卒業式並びに生産システム工学専攻修了式を挙

平成30年3月18日（日）、平成29年度電子機械工学科・制御情報工学科卒業証書授与式並びに生産システム工学専攻修了証書授与式を挙

式では、林校長は卒業生らに対し、「皆さんの進む道は多

岐に分かれますが、将来それは再び交わることがあるはず。友達を大切に、自分の命、周りの人の命を大切に、今後進むべき道で、社会に貢献されることを強く、強く祈念いたします。」と祝辞を述べられました。

平成30年度本科並びに専攻科（生産システム工学専攻）入学式を挙

平成30年4月4日（水）本校第2体育館において平成30年度本科並びに専攻科の入学式を挙

式では、商船学科38名、電子機械工学科40名、制御情報工学科40名の計118名を本科1年生に、留学生1名を制御情報工学科3年生に、生産システム工学専攻に9名の進学者を迎えました。

式では、林校長の入学許可の後、在校生が足踏みで新入生への歓迎の意を表しました。



各種コンテスト

全日本ソーラー&人力ボートレース大会 2017にて一周スラローム準優勝

平成29年8月27日（土）28日（日）の両日、全日本ソーラー&人力ボートレース大会2017が、愛知県碧南市の勤労青少年水上スポーツセンターにて行われました。レースの結果は「一周スラローム準優勝（人力B）」でした。



高専プロコン 最優秀賞・優秀賞・特別賞を受賞！

平成29年10月8、9日に山口県周南市で開催された高専プログラミングコンテストにて、以下のチームが各賞を受賞しました！皆様に応援していただいたお陰と感謝しております。

課題部門

最優秀賞 (文部科学大臣賞) STEP

—スコアブックと連動する動画閲覧システム—

特別賞 テレスコア

自由部門

優秀賞 さくらインターネット企業賞 うみどり

—ドローンを用いた水産業支援—



ロボットコンテスト全国大会出場

平成29年12月3日(日)に、「アイデア対決・全国高等専門学校ロボットコンテスト2017」全国大会が東京都で開催され、地区大会を勝ち抜いたロボコン部チームが出場、結果は奨励賞を受賞。

第6回気象文化大賞「高校・高専 気象観測機器コンテスト」最優秀賞・代表理事特別賞受賞

平成29年11月18日、一般財団法人WNI気象文化創造センターにより開催された「高校・高専 気象観測機器コンテスト」において、制御情報工学科4年生と3年生から構成される2チームが、本選参加32チームの中から最優秀賞(全国1位)と代表理事特別賞(3位相当)を受賞しました。

ImagineCup世界大会出場

平成30年4月16日(月)に開催されたマイクロソフト主催の学生向けITコンテスト「ImagineCup日本大会」において、鳥羽商船高専チームは優秀賞を受賞し、7月末にアメリカのシアトルにて開催されるImagineCup世界大会への出場が決まりました！

(別途紹介記事参照)

注目クラブ活動

陸上部の畠田君が走高跳で大活躍！

陸上部の畠田寛大君(電子機械工学科2年生)が走高跳で大活躍しています。

平成30年6月23日(土)・24日(日)の第56回東海地区国立高等専門学校体育大会にて優勝(1m85cm)、平成30年7月7日(土)・8日(日)の第81回三重県陸上競技選手権大会にて4位入賞(2m00cm)しました。これから益々の躍進が期待されます！



教職員人事

採用

商船学科	広瀬 正尚
商船学科	北村 健一
電子機械工学科	吉岡 幸次郎
一般教育科	深見 佳代
学生課 入試・支援係	井上 琴美

転入

一般教育科	澤田 圭樹
事務部長	山内 浩一
総務課企画・地域連携係	山村 優美
総務課人事労務係	今井 信博
学生課長	竹中 久雄

同窓生の本校教職員

齋心 俊憲 (H1N)	鳥羽丸船長
大野 伸良 (S56E)	鳥羽丸機関長
山野 武彦 (H10E)	鳥羽丸一等機関士
小島 知恵 (H14N)	商船学科准教授
出江 幸重 (H3M)	制御情報工学科教授
江崎 修央 (H4M)	制御情報工学科教授
中井 一文 (H16I)	制御情報工学科准教授
竹内 晃輔 (H7I)	総務課施設係係長
宮崎 政志 (H8M)	総務課施設係
吉岡 裕也 (H16E)	テクノセンター技術職員
濱口 沙織 (H17I)	テクノセンター技術職員
三重野崇亮 (H23I)	テクノセンター技術職員
秋山 武彦 (H20N)	鳥羽丸技術職員
金子 将也 (H22E)	鳥羽丸技術職員



支部だより

東日本支部 支部長 S43N 水野 正治

初夏の候、皆様におかれましては益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。東日本支部の平成29年度活動状況及び活動予定を報告します。

平成29年度活動状況

- 5月3日 カッター練習日
- 5月11日 第47回日本戦没殉職船員追悼式出席
(横須賀) 増田、水野
- 5月13日 攻玉社同窓会総会出席
(芝公園：メルパルク) 田中会長、水野
- 5月21日 第34回横浜港カッターレース2艇
(一般：シニア) 参加
- 5月29日 支部役員会開催
- 6月4日 同窓会総会&懇親会出席 (名古屋)
- 7月29日 合同進学ガイダンス開催支援 (東京)
岩田参加
- 7月30日 合同進学ガイダンス開催支援
(横浜：ナビオス横浜) 水野参加
- 8月5日 銀河丸実習生激励及び戦没船員慰霊品
依頼 (横浜) 増田、水野出席
- 10月28日 支部総会懇親会開催
(ナビオス横浜) 26名参加

平成30年

- 2月2日 支部役員会開催
- 4月12日 支部役員会開催
- 5月6日 カッター練習日
- 5月15日 第48回日本戦没殉職船員追悼式出席
(横須賀) 増田、水野出席
- 5月19日 攻玉社同窓会総会出席
(会長、前会長、水野出席)
- 5月20日 第35回横浜港カッターレース2艇
(一般及びシニア) 参加
- 6月3日 本部総会出席 (大阪)
- 7月 合同進学ガイダンス支援

○東日本支部総会懇親会開催予定日時

日時：10月25日(木) 18時00分～20時00分

場所：ホテルグランドアーク半蔵門

千代田区隼町1番1号 TEL.03-3288-0111

(最寄駅 東京メトロ半蔵門駅A1出口徒歩3分)

会費：5,000円 (予定)

中部支部 支部長 S53N 山川 博之

昨年、中部支部長に就任してから早1年が経過し、そして平成30年度本部総会が6月3日に関西支部担当で大阪にて開催され、理事会、総会に出席しました。その中で、林校長より本校商船学科の定員割れが生じたことが報告され、これは商船学科の存亡にかかる由々しきこととの認識により、同窓会に対して、来年度における学生募集の要請がありました。中部支部においても、商船学科の存続、しいては同窓会の存続するためにも出来る限りの行動を行うつもりです。

次に支部だよりとして、平成29年度活動報告をさせていただきます。6月4日、平成29年度中部支部定例総会を本部総会同時開催もあって、48名の出席により開催しました。世代交代もあって最近、平成卒業生の出席が増えたこと喜ばしいことですが、毎年のことながら工業系同窓生の出席なく、同窓会への参加を促すことが従前からの課題となっています。

毎年恒例、春と秋の年2回行っている名鳥会ゴルフコンペを本年度も第39回を6月11日に、第40回を11月26日に開催しました。平成30年度も継続開催として、6月24日に開催し、秋季の開催も11月18日に開催予定となっています。参加メンバーが固定的になっているため、今後も継続開催するためにも広く多くのメンバーをお待ちしています。

7月28日には練習汽船「青雲丸」入港し、30日(日)に船内一般公開を行いました。本校学生も乗船しており、飲み物の差し入れをしました。11月10日、名古屋港フレンドリーポートの行事の一環として毎年、入港する練習帆船に合わせて入港する本校練習船「鳥羽丸」に歓迎表敬訪問しました。

年が変わって、3月22日入港した練習汽船「銀河丸」にも本校学生が乗船しており、飲み物の差し入れをしました。平成30年1月26日に、第4回目を迎えた名古屋港の海事関係同窓会である「全船協」「海洋会」保安大中部地区OB会「若葉会」の集いとして「めいよう会」が開催され、中部支部からも参加し、今回も東京から全船協会長であるS38機関科卒の岩田仁氏が出席、来賓挨拶をしていただきました。今後とも参加することにより、地元海事関係者の情報交換、連携を深めるところです。

2月2日には、学校、同窓会の近況の情報共有とする役員会を開催しました。

次に平成30年度における活動状況(7月末現在)

について、報告します。

5月14日には、本部総会に先立ち、平成30年度中部支部定例総会を40名の出席により開催しました。6月26日から27日までの間、本校練習船「鳥羽丸」が商船学科航海コース4年生の航海実習の途上において、名古屋港に寄港した折、26日には訪船し飲み物の差し入れ、本船船長、機関長と懇談しました。7月7日には、「故郷の海を愛する会」2018年事業として、約120名（主催者含む。）の方々が、名古屋港の南極観測船「ふじ」及び名古屋海洋博物館を訪れ、飲み物を差し入れました。（事務局の方々、暑い中、お疲れ様でした。）

来る8月5日には、四日市港まつりの一環として開催されるカッターレースに、我が中部支部から選りすぐりの精鋭をメンバーとする、チーム名「鳥羽商船ヤンキース」が参戦予定です。（無理せずに熱中症とならず完走してください。ご健闘をお祈りします。）

以上が、平成29年度の活動報告及び平成30年度の近況報告をもって支部だよりとします。

四日市支部 支部長 S61E 西井 育央

同窓会会員のみなさまにおかれましては、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

日頃は四日市支部の同窓会活動に大変お力添えを賜り有難うございます。支部を代表いたしまして厚く御礼申し上げます。

6月30日（土）、四日市市内の日本料理店「たまゆら」において支部総会が開催され、今年「卒寿」の歳を迎えられる中野清文様（S21N卒）をはじめ、総勢26名のご出席を賜りました。

支部総会は、正村和也様（H23N卒）の司会により開会し、支部長あいさつでは、本部総会で報告されました「イマジンカップ世界大会へ日本代表出場決定」、「商船科の定員割れによる懸案と打開に向けた協力」さらには「故郷の海を愛する会の運輸局長賞受賞」などについてお伝えさせていただきました。

犬飼和孝様（H13N卒）により、会計決算、予算説明や支部活動計画等について説明され、審議の結果、満場一致で承認を得ました。

引き続き懇親会に移り、中野清文様の乾杯のあいさつでは、当時の学生生活や厳しい時代の船員としてのご苦労など、懐かしく思い出された貴重なご経験のお話しに感動し、支部同窓との語らいと笑い声

が会場を包み、限られた時間でしたが笑顔の花が咲きました。

また、今回初参加された鈴木俊雄様（S63E卒）におかれましては、実家が伊賀の老舗の造酒屋（大田酒造）とのことであり、伊勢志摩サミットで一躍脚光を浴びた「半蔵」を持参され、皆が美酒に舌つづみを、そして定刻の時間になり来年の再会を誓い中澤昌信様（S37N卒）の中締め、司会者の閉会宣言で懇親会も幕となりました。

支部総会にご参加くださった皆様、ありがとうございました。来年度においても、たくさんの四日市支部の皆さまと元気で素敵な再会がありますように願っています。

◎第56回鳥羽商船同窓会四日市支部総会出席者

中野 清文 (S21N)	中澤 昌信 (S37N)
石垣 三郎 (S37N)	名倉 勝 (S38N)
木崎 喜富 (S41E)	鈴木 敏行 (S43E)
服部 光幸 (S43N)	鈴木 秀敏 (S43N)
山本 晴久 (S50E)	山本 雅拾 (S50E)
小笠原典城 (S51N)	高橋 敏行 (S53E)
室 博也 (S55N)	西村 讓治 (S59N)
笠松 伴 (S60N)	西井 育央 (S61E)
鈴木 俊雄 (S63E)	待井 健司 (H2N)
伊藤 英樹 (H4E)	相良 球一 (H6N)
岡野 清人 (H9N)	西村 崇 (H6I)
池畑 勉 (H10E)	岡山 雄一 (H11E)
犬飼 和孝 (H13N)	正村 和也 (H23N)

計 26人（敬称略）

今回、四日市支部として悲しいご報告があります。支部の会員、私の同期、親友そして四日市港での日々の業務パートナーでもあった宮本佐十さんが享年52歳にて逝去されました。

病気が発見された時には、もうすでに完治の見込めない状態で、その後10ヶ月足らずで逝ってしまいました。7月16日には、葬儀がしめやかに執り行なわれ、前日のお通夜も含めたくさんの支部会員、他県からの同期の皆様が参集し彼の死を悼みました。彼は、学生時にはカッター部主将として、また現在は四日市海運(株)の総務部長として、いつも謙虚にして驕らず、責任感、正義感が強く、我々同期や職場関係者からは信頼される存在として、また後輩に対してもいつも笑顔で優しい上司であり、すべてに活躍されていました。母校入学からこれまで約40年来、同じ釜の飯を食った仲間として、いろんな思い出が、走馬灯のごとく浮かんできますが、家族を賑

やかにする存在が突然いなくなった寂しさは、私の想像以上だと思います。ご家族様にはどうか 一日も早く悲しみから立ち上がって頂きたいと存じます。宮本佐十様のご冥福を心よりお祈り致します。

最後に、会員の皆様の今後のご活躍を祈念して四日市支部の活動報告とさせていただきます。

伊勢志摩支部 支部長 S43E 三井 健次

1. 定期総会出席 (6月3日・大阪)
2. 卒業式出席 卒業生同窓会会費納入促進プレゼン (2回)
3. NPO法人故郷の海を愛する会への協力と助成、年度末に赤字となった場合多少の追加助成に応じる。
4. 校祖近藤真琴翁の業績を地域の人に知ってもらう活動。目的を同じとする団体に協力し積極的に進めていく。(昨年度上演された近藤真琴物語「攻玉伝!」の感動の一場面「日和山にアサギマダラを呼ぶ」計画の具体化)
5. 同期会開催奨励金制度は継続する。
6. 伊勢志摩支部同窓会員のレクレーションとして神島ハイキングを秋に行う「故郷の海を愛する会」に協賛。
7. 海学祭模擬店出店協力・必要経費を差し引いた剰余金は同窓会に寄付。
8. その他

関西支部 支部長 S52N 田中 潔

(報告は、6月の総会時のものです。)

1. 本部総会・懇親会の準備

平成30年6月3日開催の本部総会、理事会及び懇親会(関西支部担当)の準備のため、会場である大阪第一ビル(マルビル)と交渉し、運営等の準備を進めております。

2. 支部総会・懇親会

今年度の支部総会・懇親会は本部総会・懇親会と同日開催とし、本部からの案内に支部総会の案内を同封しました。皆様の参加をお待ちします。

3. 平成29年度関西支部総会

平成30年5月26日に関西支部幹事会を開催し、本部総会・懇親会の役割分担等の打ち合わせを行います。

4. その他

(1) 平成29年10月末に母校練習船鳥羽丸が大阪港開港150年記念イベントに参加します。表敬訪問及び差し入れをする予定でしたが、あいにくの台風のため中止となりました。次回の寄港をお待ちします。

(2) 国立高専(商船学科)5校合同進学ガイダンスが今年も開催されるのであれば参加したいと考えております。 以上

西日本支部 S48E 神子 功

皆さん、暑い中如何お過ごしでしょうか? 6月18日の大阪高槻を震源とする地震に遭われた方、又、7月5、6日の西日本豪雨に遭われた方、お見舞い申し上げます。

西日本支部活動として、7月5日に長崎にて中野支部長、福岡元支部長、神子、江尻さんと各婦人同伴で懇親会を行いました。ちょうど西日本豪雨の真っ只中でしたが、私達のいる場所は大雨にならず無事でした。7日に予定していた西日本支部総会は、7日の朝、山陽新幹線が不通の為、東京、広島、岡山、神戸から参加予定の太田さん(S33N)、山下さん(S40E)、片岡さん(S33N)、河本さん(S50N)、永井さん(S47E)、横井さん(S48N)、鹿野さん(S48N)の7名が欠席を余儀なくされました。特に呉の山下さん、倉敷の河本さんからは、周囲の状況の大変さが伝わってきました。又、三角さん(S32E)は、健康上の理由、菅沼会長は仕事上の理由でキャンセルになりました。中止も検討しましたが、残りの方が出席できるとのことで、開催を決めました。参加者は、福岡さん(S33N)、佐野さん(S33N)、加藤さん(S35E)、野村さん(S42N)、柴田さん(S56E)、でこの5名の方は、5時頃、下関の海峡ビューホテルに到着されました。長崎から、移動した中野さん(S41N)、江尻さん夫婦+孫(S48E)、私神子夫婦(48E)の6名は、長崎から10時間かかり、20時にホテルに到着しました。宴会は19時頃から始めてもらい、私達が合流後再度、支部長の挨拶、元支部長の乾杯の音頭で宴会が始まりました。私の方から、菅沼会長から、来年は必ず参加するので皆さんよろしくとの伝言と寄付を頂いたことを報告し、本部総会の話、特に今年入学者卒の定員割れの話をし、9月に臨時支部長会でその対策を協議することも話しました。21時半に宴会終了後、401号室で恒例の2次会を夜更けまでして解散しました。



翌日は雨も止み蒸し暑さが戻って来ました。

9時半に来年の再会を約束して、散会しました。新幹線は開通しましたが、豪雨の爪痕は残り、九州自動車道も一部通行止めの区間もあり、福岡に戻るまで約4時間かかりました。西日本に在住の方は、来年も開催しますので、ぜひ参加して頂くようお願いいたします。

平成30年7月31日 記述 神子 功

クラス会

76期同期会 (喜寿を迎えた仲間たち)

平成29年5月17～18日 下川 公一

新緑若葉に映えて快い青空の下、5月17～18日、木戸先生お住まいの津に、遠くは北海道から、既に過ぎた者もおるものの、殆どが喜寿を迎える歳、功成名を遂げたツワモノ？が、奥様含め18人、ご高齢の先生を囲んで愉しい感謝な時を過ごしました。事前に幹事から「我が人生3分間スピーチ」と題して各自話すように言われており、いつもながら神田さんの内容の奥深さ、ユーモアたっぷりの話術に、腹を抱えて笑い転げたり、増田さんの著作「常陸国風土記」入門ノートについては、長年教育者としての歩みの後、家族を置いて単身北海道へ、晴耕雨読の毎日に蓄積された博識、深い人間性とお姿に唸らされたり、失敗談あり、成功談あり、あつと言う間の時の流れを惜しみつつホテルの部屋へ。翌18日は早めに帰る者を除いて、野田幹事ご夫妻他4人がゴルフに。又、ご厚意により地元の柴山幹事ご夫妻の車2台に7人が分乗、津市内観光に、多くの者が各地から鳥羽へ通過駅の津、降り立つのは初めての者が多く、三重県の県庁所在地らしい街並み、総合博物館、総合文化会館、阿漕海岸等を案内して戴き、唯々感謝でした。同期も半分は世を去り、一抹の寂しさを抱えつつ、来年も元気で会おうと言葉を交わし、木戸先生いつまでもお元気でと祈りつつ、津を後にしました。

高専12期 (昭和53年入学) 生同窓会

前川 剛

平成29年10月21日、浜名湖ロイヤルホテルにお

いて、昭和53年、当校に入学し志を共に鳥羽の地で青春時代を謳歌した中年が集い楽しいひと時を過ごしました。当同窓会は、平成24年(50歳時)にも第1回を催していたのですが、発端は同窓生の廣氏の発案、舵取りで私を含め数回、名古屋にて事前準備等を充分に行い志摩ロイヤルホテルにて航海・機関の同窓生35名前後が集まり盛大に行われ5年毎の開催を約束し閉会しましたが、投稿が出来ず申し訳ありませんでした。

本題に戻りますが、会当日は、大型台風21号が日本列島を直撃する勢いの中でありましたが、15名の出席のもと行われました。当日は、昼過ぎから風雨が激しくなる中、前回に引き続き5年振りの者、在校中以来の30年以上振りの者等が、ポツリポツリとはぼマイカー(1名大型バイク)で到着し、慌しく記念撮影の後、宴会へと突入し乾杯当初は、皆、固さが見られましたが、一杯、二杯と杯が進むにつれ『バック・トゥ・ザ・フューチャー』状態となり酒、会話が弾み別室でのささやかな二次会、部屋飲みと当時の酒量に及び、翌日を向かえ、前回参加者から、やや寂しい会となりましたが、台風接近で急遽仕事が入ってしまった者等も含め、欠席者からは次回は必ずとの返答も多数あり、還暦に、鳥羽の地での再会を誓い、アルコールが抜けると共に、悪天候の中、三々五々、帰路についた次第です。

参加者は、後列左から、志村、北村、勢力、浜口、小島、小西(東)、東、前列左から山本、釣田、滝口、東、前川、露峰、藤原、写真外・岡本…敬称略

追伸、当会は、昭和53年商船入学生で卒業年、進路変更者問わずで集まっていますので、次回の多数参加を期待しています。前回、今回同窓会開催にあ



たり、当校卒業生、ロイヤルホテル勤務の奥村晃平氏のご尽力に感謝します。

高専8期生 (S54年卒) プチ同窓会

平成29年12月2日 大窪 斎

去る12月2日(土)、名古屋駅近くの「炉端の旬蔵 名駅店」に高専8期生(昭和54年卒)有志8名が参集し、細やかな同窓会を開催いたしました。發起人はN科西濱君で、会の主旨は「同期の多くが還

暦を迎える2018年に、卒業後初めての、本格的な同窓会を開催するための意見交換」です。西濱君曰く、「今、この節目の年に何かアクションを起こさなければ同窓が集う機会を永遠に逸してしまう」と寂しさを感じたそうで、母校同総会（名古屋）に出席していた同期の二人に話を持ち掛けたところ、有志を集めて相談の場を設けようと合意に至ったそうです。そこで、N科鈴木（旧姓田中）君が幹事役を担い、会場アレンジや連絡がつく限りのメンバーに参加を募るなど、多大な労を執っていただき、本会の開催が実現しました。

参加者）N科：北地 鈴木（田中） 寺田 服部 増島 西濱 E科：藤井 大窪

……ということで、召集の目的が単なる宴会でなく重要な打合せであったため、アルコールが入る前に（お店のご理解もあって）、還暦同窓会開催に向けての真剣な企画会議を行いました。その内容につきましては後報にて紹介したいと思います。

さて、白熱した議論を終え、いよいよ美味しい肴とアルコール飲み放題の宴席が始まりました。話題の中心は何と言っても在学中・青春時代の思い出の共有、特に謹慎・停学を拝領した武勇伝や裏話、やんちゃ物語で大いに盛り上がりました。時効とはいえ若かりし頃の赤恥をホームページ上で晒すのも気が引けますので多くは記事にしません、飲み放題の2時間はあっという間に過ぎ去ってしまいました。やはり、40年来の旧交を温めるには夜を徹してのカタフリの時間が必要であると改めて感じた次第です。そして、2018年開催の8期還暦同窓会を是非とも実現させ、今日の続きはそこで語り合おうと誓い合い、プレ同窓会を散会しました。



非とも実現させ、今日の続きはそこで語り合おうと誓い合い、プレ同窓会を散会しました。

高専7期同期会

S53N 山川 博之

2018年5月18日、我々7期生が鳥羽シーサイドホテルにて17名が集い旧交を温めました。今回は卒業以来対面するメンバーも居り、風貌はある程度変わってしまいましたが一目見るなり名前が出て楽しく学生時代の事、現在の事色々話が出来ました。また、17名の中にはパイロットから会社の社長、すし屋のおやじや気功師と色々な環境のメンバーが居

て会話が尽きませんでした。

前回に引き続き鳥羽での開催となり、遠いところでは鹿児島からの参加者もあり4年毎に行う同期会ではありますが、2年後に有志開催という事で鹿児島にて行う事にして楽しいひと時を終了し、翌朝それぞれ帰途につきました。



会員の投稿・活動紹介

特集 活躍する同窓

1 日本代表としてイマジンカップに出場した在校生より

Microsoft Imagine Cup World Finals 2018に参加して

生産システム工学専攻1年 服部 魁人

Thank you. その言葉を放った瞬間、達成感と悔しさが入り混じった複雑な気持ちになった。私は2018年7月22日～26日の5日間、Microsoft Imagine Cup World Finals 2018に参加してきました。Imagine Cupは、世界中から国の代表チームが集まりプロダクトを発表する世界最大の学生向けコンテストです。世界各国から48チームが米シアトルに集結し世界チャンピオンを決めます。全てのプロダクトは人工知能・ビッグデータ・MRのいずれかの技術を使用する必要があり、さらにビジネスモデルなども高度なものが求められます。

私たちが開発したプロダクトは「EFFECT」といいます。EFFECTは海面養殖業者向けのAIによる自動給餌システムです。養殖業者はWebからリアルタイムに魚の様子・給餌スケジュール・水温・

塩分濃度などを確認することができ、労働時間の削減を実現します。さらにはAIによって給餌スケジュールやその日与える餌の量・時間を決定し、インターネットから給餌機を制御することで完全自動給餌します。今回、私たちは世界的な海洋資源需要の増加や高齢化、餌コストの増加などに触れながらプレゼンしました。

1日目、シアトルに到着です。私は米サンフランシスコに留学中のため2時間程度のフライトでした。チームメンバーの世古口英大と河口祭は日本から10時間のフライトで到着早々お疲れの様子です(笑)。彼らとは4ヶ月ぶりの再会でしたが、久しぶり感が全くなかったのは毎日のようにSkypeミーティングをしていたからでしょう。宿はワシントン大学寮で、到着して間も無くデモ機の動作確認とプレゼン練習を分担して行いました。が、ここで問題発生!「Webサイト、日本時間が基準やから動かなくない!」やばいです。その時、メンバーのWeb開発担当である河口祭が「僕、今からプログラム書き換えますよ」と。カッコ良すぎです!プレゼン前日ながらプログラム書き換えてくれました。さすがです!危ない危ない(汗)



2日目はデモ&プレゼンです。チーム毎にデモブースを構え、実機を見せながら審査員にプレゼンを行います。昨日書き換えたプログラムもうまく動作し、順調に説明をすることができました。初めての英語での説明で苦戦することもかなりありましたが、システムの流れは伝わっていたと思います。結果は明日の朝に発表されます。ここで残ることができればセミファイナル進出です!

3日目、予選の結果発表です。結果は…残念でした。しかしまだチャンスは残っています。90秒の

ショートプレゼンを行い、学生による投票で3チーム以内に勝ち残れば敗者復活できます。これはスライド・実機なしの完全に言葉だけのプレゼンで、いかに学生に印象に残せるかが鍵になってきます。このプレゼンは私が行いました。前のチームがプレゼン中、傍で壇上に上がる準備をしていました。この時の私は人生で一番緊張していたかもしれません。プレゼンは以前から何度かする機会があり慣れていたつもりでしたが、初の言葉だけの英語プレゼンです。心の準備が整わないまま壇上に呼ばれ、喋り始めました。喋っている間のことは正直よく覚えていません。ただ何度か詰まってしまったこと、プレゼンが終わった直後の気持ちはよく覚えています。Thank you.その言葉を放ってプレゼンを終えた瞬間、なんとか伝えたい事は言えた!という達成感と英語がもっと上手ければという悔しさを感じていました。結果、この投票でも残念ながら選ばれず、セミファイナルに進出することはできませんでした。この時、このImagine Cupでの私たちの発表機会は無くなってしまいました。

その後寮に戻り反省しながらゴロっとしていると、江崎先生がステーキに行こうと誘ってくれました。レストランは寮の近くにあり、4年前に世界大会に出場した「かぞくぐるみ」の時にも来たそうです。シアトルの美しい湖・景色を横目に見ながら食べるステーキは本当に美味しかったです。同窓会の皆様、資金援助していただきありがとうございます。



4日目と5日目は決勝戦の観戦とシアトル観光をし、帰国しました。1年生の頃から憧れた先輩と同じ、この大きな舞台上で発表できたのは私の誇りです。これで一区切りが付きましたが、全てが終わる訳ではありません。これからもプロダクトの改良を続け、もっと良いものとするため活動を続けていきます。

2 日本郵船株式会社、設立132年の歴史で初の女性船長になられた小西氏より。



1. 自己紹介

小西 智子 33期生

日本郵船株式会社 海務グループ 調査役 船長
(2018年現在)

2004年に商船学科航海コースを卒業し、同年10月1日に日本郵船株式会社に三等航海士として入社。入社後の約6年間を航海士として海上で働き、その後4年の陸上勤務を経て海上復帰した後、2017年4月に船長辞令を受けました。現在は海務グループにて再び陸上勤務についています。

2. 就職後の仕事内容

就職後は、見習いの次席三等航海士として中近東のカタールから日本に液化天然ガスを運ぶ船に乗り、半年ほどで三等航海士として独り立ちしました。その後は、コンテナ船、燃料炭や鉄鉱石をばら積みで運ぶバルクキャリア、自動車船と、色々な種類の船に乗り、北米、欧州、中近東、アジア、オーストラリアと色々な海を航海してきました。7つの海とまではいかずとも、パナマ運河、スエズ運河も通り、訪れた国は諸先輩方と比べるとまだまだ少ないですが、45ヵ国。実はまだCape Hornを通ったことがなく、船乗りとして、いつかは通ってみたいと思いながら、入社して14年を迎えてしまいました。

航海士の業務については、皆様よくご存じでしょうから、意外と知られていないかもしれない船乗りの陸上業務について当時の担当業務を少しご紹介いたします。一等航海士の辞令が出た2010年に、東京での勤務が決まり、自動車船グループの海上輸送品質チームに着任しました。自分の意見や改善案を提案できる雰囲気があり、それを実際にさせてくれる部署だったため、大変でしたが楽しい陸上勤務でした。中でも印象に残っているのは、自動車船への

積み付け計画の作成に使うソフトウェアの改修案件です。かなり残業もし、精神的にも肉体的にもきつかったのですが、そのシステムが現在も現役で動いているのを見ると嬉しく思います。今も、当時改修に携わった関係者で集まって飲む機会がありますが「あのプロジェクトは楽しかったね」と思い出しに花が咲きます。システム改修業務の中で特許も取得しました。

船乗りとして就職したのにシステム案件に携わるなんて思ってもみなかったのですが、卒業研究はシステム系のもだったため、抵抗なく受け入れられる土壌のようなものは出来ていました。実のところ最初から希望していた研究室ではなく、先着順に負けた為にやむなく選んだ部屋だった為、当時は教官とも研究テーマとも合わずに苦労したのですが、そこでの経験が就職後、何年も経ってから活かしてくるとは思いもよらなかったことです。努力したことは何事も無駄にはならないのだということをつくづく感じます。担当教官には、かなり反発もしましたが、今となっては感謝の気持ちしかありません。この場を借りて鈴木治教官にお礼申し上げます。ありがとうございました。



3. 後輩へのメッセージ

私の個人的なポリシーとして、幸せに仕事を続ける為に「人生を犠牲にして仕事をする事」はやめようと思っています。よく「どれだけ苦労したか?」「何を犠牲にしてここまで来たか?」を聞かれがちです。船乗りという仕事を女性として続けることで、周りから見れば色々なことを犠牲にしているようにも見えるのでしょうか。ですが、私自身は何かを犠牲にして仕事をしてきたつもりはなく、これからもそうするつもりはありません。辛いことはありますが、自分で選択した道・結果である限り、犠牲だとは思いません。なぜなら、自分が何かを犠牲にし

て仕事をしていると考え始めると、全てが苦しく、後ろ向きになってしまうからです。

皆様ご承知の通り、船乗りという職業は、やりがいがあり、誇りの持てる素晴らしい仕事ではありますが、家族や恋人、友人からも遠く離れ、残業は必須、責任も重く、その負荷は相当なものです。入出港が何日も続くとまとまった睡眠もとれませんし、何かトラブルがあれば寝ていても叩き起こされる世界です。そんな辛いとき、大変なときにものをいうのは、結局のところ気力！しかし、自分が何かを犠牲にしていると思って仕事をしていると、その気力が湧かないのです。私が仕事を幸せに続けられているのは、才能があるからでもなく、体力があるからでもなく、気力があるからだと考えています。

後輩の皆様が、やりがいのある仕事のもとで気力が溢れた素敵な人生を歩まれることを祈念し、ここで筆をおきます。

3 三重県中南勢でIT業界のリーダーを目指す樋口氏より。

制御情報工学科 一期生

(株)コムデック 代表取締役社長 樋口 雅寿



初めてコンピューターに触れたのは小学6年生の時に友人宅でした。カセットテープから世にも不思議な「ピーー...ガー」と電子音をさせながらデータがロードされ、随分待たされてからゲームで遊んだのを今でも覚えています。

コンピューターとの最初の出会いがゲームだったからか、鳥羽商船高専に進学して親に学校の授業で絶対必要と偽って買ってもらった40万円近いパソコン(PC-9801VX21)は、ほとんど学業に使われることなくゲームと年賀状作成にしか活用されていなかったのは遠い思い出です(同期生も皆が同じ状態だったはず...)。あまり自覚はありませんでしたが、今思えば当時新設されたばかりの「制御情報工

学科」を中学生ながら希望して進学し、就職も県内の電算会社のプログラマー職、そして現在代表取締役を務めるIT企業「株式会社コムデック」を創業したことを考えると、小学6年生のコンピューターとの出会いは私の人生にとって大きな影響を与えた出来事だったのでしょう。そして「制御情報工学科」で学び、遊び、バイトに明け暮れた5年間の日々こそが私の礎となっているのは間違いありません。

ただし、遊びとバイトに励みすぎた報いとして、卒業時の席次はボトム(最下位)であり、今でも同期生の集まりでは気さくに「ボトム君」と呼ばれているのは生涯の不覚であり取り消せない過去であります。

ありがたいことに同期生とは、主にFacebookを通じて現在も交流があり、同窓会の開催や出張の際に集まるなど高専生独特の5年間同じメンバーで過ごした時間による絆は強く、それぞれ多様な人生を送っているにも関わらず、偶に集まっては時を忘れて楽しい時間を過ごさせていただいています。

こんな私ですが、経営者としては現在学生時代以上に真面目に取り組んでおり、経営しているIT企業「株式会社コムデック」は昨年20周年を迎えることができました。

業務ソフトウェア(販売や出荷管理)開発やPC販売、ネットワーク構築を主業務とした弊社は、地元企業様を顧客基盤としており、本年「働き方改革的」新社屋を伊勢市小木町 ララパーク横に竣工させるなど、狭いエリアではありますが三重県中南勢地区のIT業界のリーダーの地位を目指して頑張っております。近年では、クラウドサービスを顧客企業に導入し、電卓、ワープロの延長線ではなかったパソコン業務の生産性を改善する、各種ITサービスを用いた業務改善コンサルティングサービスを開始し既存のお客様のみならず、県内外の新規のお客様とのお取引が始まるなど好評を得ています。

地方におけるクラウドサービスの積極活用事例企業として国内外の多数のクラウドメーカー(Microsoft、Evernote、Dropbox、サイボウズ等々)様にも認知されパートナー契約を三重県で唯一締結するなど、時代に適応した経営を心掛けております。

さて、地元に残っている者として母校について感じるのですが、一時期は芳しくない評判を聞くこともありましたが、近年は先日もMicrosoft主催の学生向けITコンテスト「ImagineCup日本大会」において、鳥羽商船高専ezaki-labチームが優秀賞

を受賞、7月にアメリカのシアトルへ訪問したニュースや、高校総体の折に皇太子殿下が訪問されるなど、ITを活用した研究成果が新聞やTVで取り上げられることが増えたせいか、地元の客様からお子さんを是非鳥羽商船高専に進学させたいという声を聞くようになりました。

鳥羽商船高専にたいする評価の向上は、学生の皆さん、そして学生をバックアップしている教官や事務官の皆さんの並々ならぬ努力があつての事であり、不出来な先輩ではありますが非常に嬉しく感じています。

本ページの写真は、地元経営者として母校を訪問した際に、制御情報工学科の学生の皆さんに社会人の先輩として就職活動や企業の考え方についてお話をさせていただいた際の記念撮影です。当時愛用していた教卓前の席に座らせていただき撮影したのですが、前述のように一番前の席で愚かにも授業中に勉学ではなく漫画や小説など余所事に励んでいた思い出の席であり感慨深いものがありました。

時代や方法は変われども5年間一貫した教育が行われる鳥羽商船高専は貴重な人材を生み出し続けており、多くの企業から支持され、また多くの卒業生が企業の一線で活躍しています。

不出来な学生であった私ですが、次々と輩出される優秀な後輩に負けることないよう、経営者として社会に貢献できる企業に成長させ、そして社会に貢献できる人材を育てられる企業であるよう今後も努力してまいります。



和国で国際協力活動をしています。職種は動力発電技術といいまして、同国の発電所にあるディーゼル発電機の運転・保守管理の技術指導をしています。2016年10月に赴任してこの10月で任期の2年になり帰国します。

パラオ共和国は日本から南に3,000kmにあり、人口20,000人の小国ですが多彩な青の海と多様な海の生き物がいる美しい島国です。そこに総発電量10MWの発電所が2カ所とペリリュウ島をはじめとする離島に各総発電量200kWの発電所が3カ所あり、24時間、365日発電機が稼働しています。

赴任当初は、工作室はごみの山で、工具は散乱して、運転データは山積みしている状況で、各機器の取扱説明書や図面はあちこちに放置されていました。ここからKAIZEN活動をはじめ、特に『5S活動』と『仕事の見える化』に力を入れてきました。いまでは各発電所で自主的に『5S活動』を進めることができるようになり、『仕事の見える化』もゆっくりですが進めています。

ここで国際協力活動をするうえで難しかったのは『コミュニケーション』をいかにうまくやっていくかでした。まずは自ら汗を流し、同じ方向で成果を出していくことに力を入れました。工作室がきれいになっていく、運転データが整理されていくのはだれでも気持ちのいいもので、この感覚を理解してもらえたと思っています。

あと3か月のパラオでの生活ですが、有意義にエンジョイしたいと思います。さて今度はどこの開発途上国に行こうか……。



4 シニアボランティアで活躍する郡司氏より。

2018年6月29日

高専4期（昭和50年卒）機関科を卒業した郡司恵（グンジメグミ）と申します。現在、国際協力機構（JICA）のシニア海外ボランティアとしてパラオ共

平成30年 海学祭

10月21日 開催

その他の投稿記事

秋葉原の夜 ムーンアイランド

2018年7月1日(日)

皆さんお元気ですか。我々4人は、住まいが近い？(東京、茨城、埼玉、神奈川) こともあり機会有れば都内の居酒屋で合流します。

今回は今年後還、本還、前還の3名が、大した歳の差はない後輩から、その還暦祝いを先月の6月にまとめてして頂くという大雑把ながらもありがたい名目の集まりでした。話題は毎回同じ類の内容で、今回も定年が見え始めた職場の様子から、学生時代の思い出までたわいのない話ばかりです。「この前その話聞いたよ」なんて絶対に言ってはいけません。この調子で飽きることなく終電間近まで毎回盛り上がります。しかし最近は帰りの電車で降りる駅を乗り過ごしてしまうことが増えてきたので、今日は若干余裕のお開きと言うことで。でも頂いたお祝い品は車中、網棚やシートには置かずに抱えて帰りましょう。そして次回はまた気が向いた時にての開催とし、見事バラバラの方向へ別れました。

“鳥羽で過ごしたあの頃は考えもしなかった一回りの歳”をしみじみ思い、この場を借りて久しぶりのご挨拶がしたくなった次第です。それでは皆さん、またお会いしましょう。



第31回四日市港カッターレース大会

S61N 山口 淳

中部支部の山口です。平成30年8月5日(日)に開催された、第31回四日市港カッターレース大会に中部支部を中心としたメンバーで参加しました。

チーム名：鳥羽商船ヤンキーズ

参加メンバー：艇長 中条雅一 (S61E)、艇指揮 川瀬陽介 (H11N)、漕手 瀬川尚吾 (S58N)・味岡利彰 (S60N)・鈴木淳也 (S61N)・山口淳

(S61N)・田畑智史 (H10E)・守屋英孝 (H12N)・小林拓 (H17E)

例年のない猛暑の中、午前9時より男子一般は予選18レースが行われました。各レースの1位は無条件で予選通過でき、2位以下のチームでもタイム上位6チームまでが予選通過できるということで、決勝進出を果たすべく午前10時50分予選8レース4コースで、万全の態勢でレースにのぞみましたが、結果は4艇中3位でした。

しかしながら8レース終了時点で我々のタイムは、2位以下のチームの中で3番目で、決勝進出への期待が高まりましたが、結果7番目となり予選敗退となりました。2位以下のチームで予選を通過したチームの中には母校在校生のチームもあり決勝で対決し上級生の底力を見せつけることはかかないませんでした。他のレースの1位でも我々よりも遅いチームもありましたが、技術と経験があっても体力がなく惜敗という結果になりました。また応援に多数の同窓生が駆け付けてくださり、熱い声援にとっても勇気づけられました。

今回ユニフォームとして同窓会製作のポロシャツを着用いたしました。デザイン・質ともに好評で申し分ありませんでした。今後同窓会ゴルフコンペ等で積極的に着用し広く購入を薦めて行きたいと思います。 以上



皇太子殿下のご質問にこたえて

制御情報工学科5年 河口 祭

皇太子殿下が来校された際に、私たちがマグイやシマアジなどの海面養殖の自動給餌を実現する人工知能システムを開発したことを説明させていただきました。実演として、実際に筏に設置してある給餌機を遠隔制御して、真鯛に給餌をした際はたいへん感心されていました。

皇太子殿下から質問された内容としては、人工知能を作成する上で難しかった点などでした。また、将来的に、このシステムをどうしていきたいかとも

聞いていただき、本当に漁師の方が求めているシステムですので、このシステムを商品化し養殖業に革命を起こしたいと思っていますとお答えしました。説明・質問の時間は、短く限られていましたが我々の取り組み内容をうまく伝えることができたと思います。またとない体験でとても緊張しましたが、皇太子殿下の優しい雰囲気のおかげか順調にご説明させていただくことができました。私が制御情報工学科代表として皇太子殿下にご説明できたことを光栄に思います。

2018年(平成30年)8月2日(木曜日) 10版 社会 28

皇太子さま 高校生と交流 三重 総体開会式に出席



三重県を中心に東海地方などで開かれる全国高校総体(インターハイ)の総体開会式が1日、同県伊勢市の県営サンアリーナで開かれた。皇太子さまも出席し、西日本豪雨の被災者にお見舞いの言葉を述べられた。午後10時、同県鳥羽市で総体開催地の東海四県の高校生と交流し、鳥羽商船高専ではロボットや人工知能(AI)の研究を見学した。

交流会には三重、愛知、岐阜、静岡四県で総体運営する生徒三十八人が出席した。

皇太子さまは一人ずつと言葉を交わした。愛知県内の総体PRを担う津島高三年の荒生さやかさん(せも)が、多くの生徒が総体に参加できるよう会議を重ねた経験を説明すると、皇太子さまは「多くの仲間との出会いの機会になりましたね」とねぎらった。

鳥羽商船高専では、生徒らが海洋実習の体験や、AIで養殖魚に最適な量の餌を与える研究を説明。皇太子さまは「船酔いは大丈夫ですか」「研究では何が難しかったですか」などと熱心に質問した。

全国高校総体を運営する高校生と交流される皇太子さま＝1日午後、三重県鳥羽市で

事務局だより

☆同窓会事務局では会員名簿、同窓会報、同窓会HPを通じて、本校の状況、会員の社会活躍状況や、会員の近況、活動等を皆さんにお知らせしています。この会報が、皆さんの学校時代へ想いを馳せる事や、同窓同期の親睦などに少しでも役立てれば良いなと思っております。

本年は、皇太子殿下の行啓、在校生のイマジンカップ世界大会出場など注目の出来事があり、同窓会はこれらに関連して校舎の清掃費用や世界大会出場の支援金を提供しました。このような活動ができるのは同窓会員諸氏のご理解とご支援の賜物であると思っています。このような活動の積み重ねが、母校の永続的発展に繋がると想っています。会員諸氏の変わらないご支援をお願い致します。

事務局からのお願いとお知らせ

例年同じようなことをお願いすることになりますが、

- ①会員の皆さん、転居、勤務先など変更ある場合は事務局までご連絡して下さい。同窓会会報等を発送しても宛先不明で会報等が返送されて来ることが多くなっています。今後は宛先不明者への会報等の発送は無駄と

成る為に行いませんのでご理解ください。また同窓の友人の間でこの会報が届いていない方が有ればご本人から事務局に連絡されるようにお勧めください。個人情報保護にかかる事で有ります、名簿等への情報掲載の可否も合わせて連絡をして頂きますようにお願いします。

②同窓会の活動は多くの同窓生の会費により設立90年を経過してなお健全に運営されています。本校の卒業生は他校に比べ少ないですが、このように同窓会活動が継続して行えるのは多くの同窓生が母校を大切に想っている証であると私は信じています。しかしながら年々会費収入は減少傾向になっていることは気がかりに思うことです。特に若い世代の納入率は低くこのままでは、20年先の同窓会の存続が危ぶまれてなりません。

敢えて「後輩達よ、君たちはこれでよいのか！」と問います。諸君のご理解と協力を期待します。

③同窓会HPの閲覧や投稿をお願いします。

これも60歳より若い後輩たちの投稿、活躍を期待しています。

④同窓会HPへのスポンサー広告の掲載をお願いします。

会員皆さんの会社をHPでスポンサー広告としてPRしませんか。広告料は年間3万円からです。

年度途中からの掲載は月割りとなります。是非とも掲載をお願いします。

⑤30年度は会員名簿を販売中です。販売価格3,300円（送料含む）。

⑥同窓会のポロシャツを作成しました。

2,500円（送料別約510円）。

サイズは、L、LL、3L。

色は、白とターコイズブルーの2種類です。

購入希望は、同窓会事務局に

FAX又はE-mailで申し込みしてください。



⑦小冊子「近藤真琴物語」をホームページに紹介します。ご興味のある方はごらんください。

⑧同窓会事務局のボランティア募集

同窓会事務局は、現在も少人数の有志でこの会の運営を行っています。本校近隣に在住の同窓会員の皆様、事務局の運営にご協力をお願いします。同窓会の継続的な運営の為には、事務局の老齢化の対策も考慮しなければなりません。期間限定でも良いですので行動力のある方は是非とも事務局に連絡をお願いします。

平成31年度同窓会理事会・総会は、平成31年6月2日 鳥羽国際ホテルの予定です。

☆NPO法人故郷の海を愛する会の活動など子供たち参加のイベントもあり、楽しいですよ。

こちらでも会員の募集をしています。

事務局 江崎隆夫 (S44E)、西山明 (S50E)、糸川 (H16I)

学校長よりお礼の言葉

今回の皇太子殿下行啓にあたり同窓会より100万円余のご寄付を賜り誠にありがとうございました。

このご寄付のおかげで正面玄関広場、校舎の高圧洗浄を行い、綺麗に化粧直しされ、殿下をお迎えすることができました。ここにあらためて同窓会の皆様にお礼を申し上げます。

今後ともお互いに様々なイベント、事業にご協力のほどよろしくお願い致します。

鳥羽商船高等専門学校 学校長 林 祐司

同窓会会長より会員へのお詫び

3,600秒の空白

同窓会会長 菅沼 延之

同窓会の皆様にご報告し、会長としてお詫び申し上げるべき事があります。

6月3日、大阪での総会にて、皇太子殿下の母校ご訪問について初めて校長から聞かされ、これは開校以来の名誉慶事と思いました。この時点では、まだ公に出来ず、口外無用の段階でした。大きな期待と一抹の不安を感じつつも、校長と事務長に、同窓会長として是非とも参列させてほしいと強く申し入れ、了承されました。ただ後日判明した事ですが、当初は、同窓会長出席の考えは無かった様です。

さて、当時を振り返ってみますと、もう2度とないであろう栄誉を賜りながら、同窓会長として忸怩たる思いを持つに至った、その顛末を皆様にご報告致します。例えて言うなら、我ら同窓生は学校に現住所こそ無いものの、母校こそ本籍との思い入れがあります。しかしながら、これを自負する同窓会として、今回の行事内容に全く意見具申等できませんでした。7月4日に予行演習ありとの事で、出向いた処、時既に遅し。ここで初めて私は、自分が送迎メンバー（42名）であっても、皇太子殿下に寄り添う同行メンバー（校長、高専機構理事長、県知事、鳥羽市長、鳥羽市議会議長ら及び学生数名）に入っていない事を知りました。学校の生い立ちや歴史、近藤先生や攻玉社のご説明など、同窓会として何かお役に立てないだろうかなどと、僭越ながらも思っていました。ところが、既にスケジュール表は全てが決定された後で、もはや如何ともし難い状況になっておりました。これが私の不徳の致すところで、母校の栄誉に舞い上がり、平常心を失っていた事にやっと気づいたのです。何故早くにご提案できなかったのか。その無念が今なお体中を駆け巡り、悔悟の日々が続いています。

あの当日の朝、私は、近藤先生、全同窓生の代表として、この名誉と御恩に報いるべく、家を出る前に沐浴散髪し、この日の為に全て新調したものを身に着けました。スリーピースの背広の胸には、陛下より賜った黄綬褒章の記章を付けて、3時間前には学校に入りました。まだ誰もいない会場を回り、自己満足というべきか、更なる清掃を一人汗だくでやっておりました。皇太子殿下御来校の直前となり、事務部からの要請があり、不本意ながらベストとネ

クタイを外しました。私の出立ちが、周囲の方々とバランスが取れてないと思われたのかも知れません。

「3,600秒の空白」とは、皇太子殿下が本館内と潮騒会館ご見学され、その後再び、正面玄関へお戻りになられるまでの時間です。私たちお出迎え一团には、指定待機場所（本館1階の教室）が用意されていたのですが、私1人はそこに入らず、ずっと複雑な思いで本館前に立ちすくんでいました。警備やマスコミ関係者から、「校長ですか？」などと訊かれたり、又、御料車を1人眺めていても咎められもせず、少なくとも不審者ではないと思われたでしょう。

しかし、この時間はもはや取り返せないもので、普段、社員や門下生に、非常時にあるべき姿を説いていながら、自分の不甲斐なさを思い、自責の念で一杯でした。

今上陛下、皇后陛下が、ご高齢の御身で日本国中の災害地を回られ、国内外の戦地をご巡礼されている御姿に思いを馳せれば、殿下におかれましても、きっと本校戦没者慰霊碑の前にも立ち止まって下さったのではと、痛切に思うばかりです。

近藤先生顕彰碑、戦没者慰霊碑の前に私は1人佇み、頭を深く垂れ、同窓生皆様への思いを胸に、静かに家路に就いた次第です。同窓会会長として、取り返しのつかない大失態。まことに申し訳ございませんでした。出処進退も脳裏をよぎりましたが、会長就任時の初心に還らねばと、自分を叱咤激励鼓舞しているところです。皆様のお叱りをいただきながら、せめてもの償いとして、これを今後の同窓会運営の糧にしたいと思います。

今後とも、共に母校と同窓会を盛り上げて下さいます様、改めてお願い申し上げます。